

# 令和6年度 千葉市生活支援コーディネーター

## 花見川区 第1層協議体

### テーマ：福祉施設等における地域交流スペースの活用や 地域交流について

#### 1 概要

日 時：令和7年1月29日（水）  
14:00～16:00  
場 所：花見川保健福祉センター

#### 2 目的

社会福祉法人や民間企業とのネットワークを活かし、生活支援体制を整備する

#### 3 参加団体

計：19団体 33名

高齢者施設、障害者施設、民間企業、高齢障害支援課、健康課、地域づくり支援課、あんしんケアセンター（地域包括支援センター）、社会福祉協議会、生活支援コーディネーター

#### 4 協議体設置に至った経緯

新型コロナウイルス感染症の影響により地域では高齢者の社会参加の機会が減少していた。そこで、昨年度は地域交流再開を検討している施設と連携することで地域の課題解決につながると考え、第1層協議体を設置。施設と生活支援コーディネーターが連携した活動の事例を紹介するなどして、ネットワークの構築が図られた（「6結果」参照）。

その後、施設と連携した取組につながったため、取組事例の成果報告及び今後のさらなる活動の推進をはかるため、今年度も同様のテーマで第1層協議体を設置した。

#### 5 内容

- ①生活支援体制整備事業における生活支援コーディネーターの役割について
- ②昨年度の取組事例の報告（6事例）
- ③自己紹介と交流会

あんしんケアセンターの圏域ごとに分かれ、参加者と第2層生活支援コーディネーターが互いに「出来うこと」「やってみたいこと」等の意見交換を行った。また、他団体の取組み内容を知ることで相互理解が深まるとともに、具体的な連携に向けたアイデアを共有できた。

- ④参加団体への地域交流に対するアンケート（意向確認）



令和5年度協議体後、連携して取り組んだ事例

- ①障害者施設 コミュニティースペースの活用
- ②認知症対応型共同生活介護 高齢者の活躍の場の提供
- ③認知症対応型共同生活介護 高齢者の活躍の場の提供
- ④介護付き有料老人ホーム サークル活動の披露の場の提供
- ⑤小規模多機能型居宅 リハビリ専門職の派遣
- ⑥高齢者通所介護 地域交流スペースの提供

1

#### 千葉市生活支援コーディネーター（SC）

- 介護保険法に基づき、生活支援体制整備事業を行う。
- 千葉市の委託により、区域担当（第1層）と地区担当（第2層）が配置されている。
- 高齢者の中でも特にフレイル～要支援の方を対象に「要介護」状態になることを予防し、社会参加しながら、地域で自立した生活を営むことができるよう支援する。

2

#### ②認知症対応型共同生活介護（グループホーム）における高齢者の活躍の場の提供



- 好きな演奏を披露したいという気持ちをつなげていきます。  
演奏の日だけではなく日々の活動性をあげていくアプローチへ。

3

## 6 結果

- ①今年度から参加した団体もあり、生活支援体制整備事業の理解者を増やし、新たなネットワークを構築することができた。
- ②通いの場・交流の場の提供のほか、高齢者が趣味や特技を活かして役割を持ち、活躍できるような活動の検討を行うことができた。
- ③参加団体が相互に理解する機会となり、自分たちでできることをより具体的に検討する機会になった。
- ④アンケート（福祉施設と地域住民との関わりに関するアンケート）を実施することで、地域交流についての意向を確認でき、生活支援コーディネーターの資源創出の機会が増えた。

【アンケート結果抜粋】（アンケート配布は福祉施設のみ）

- ・敷地内で住民が集うことができる 10施設
- ・住民の作品展示（手芸品・書道・絵等）ができる 7施設
- ・住民の趣味披露（楽器演奏・紙芝居等）ができる 10施設
- ・施設内環境の活用（花壇・畑等）ができる 9施設

## 【令和6年度協議体後の具体的な取組】

### ①駄菓子屋のお手伝い

人との交流が少ないフレイル高齢者にアプローチするため、通所介護事業所で行っている駄菓子屋のお手伝いについて施設へ相談をした。「役割」を持つことで本人の楽しみや生きがいにつなげていきたいと考えた。事業所と活動の目的を共有し、週1回駄菓子屋のお手伝いにいくことが決まった。

日時を間違えて施設へ行ってしまうことや約束の日時に来ないことがあるが、事業所と生活支援コーディネーター、あんしんケアセンターが連携し、見守りと併せて支援している。



回数を重ねる度に子どもたちとの会話に笑顔が増え、主体的に活動に参加している。

### ②演奏機会の拡大

これまで通っていたサロンの閉鎖に伴い、本人の特技（楽器演奏）を活かし高齢者施設で演奏を披露してもらった。結果、本人たちの意欲が向上したため、協議体に出席した福祉施設に提案し、演奏機会の拡大につながった。演奏の機会が増えたことで、本人からは「施設での演奏をつづけるために元気でいたいと思うようになった。」との声がきかれた。また、定期受診や薬の管理、食事、運動等を見直すなど、意識の変化がみられた。

演奏を楽しみにしている施設の利用者や職員のために、練習量も増えるなど、日々の活動性があがっている。

## 7 今後に向けて

- ①あんしんケアセンターが関わっている支援が必要な高齢者が、社会参加につながるような役割や生きがいを持てる場（機会）の創出に向け、第2層生活支援コーディネーターと連携していく。
- ②多様な団体に対して生活支援コーディネーターの役割の理解を深めらえるよう連携を推進していく。
- ③これまでの協議体を発展させた協議体を設置する。

## 7 担当

花見川区 第1層生活支援コーディネーター

【TEL】043-275-6438

【所在地】〒262-8510 千葉市花見川区瑞穂  
1-1花見川保健福祉センター3階 千葉市社会  
福祉協議会花見川区事務所

千葉市生活支援コーディネーター

千葉市  
ホームページ

